



各生産者の逸品が展示されました。最終日の9月14日には、展示会場にて表彰式が行われました。

道の駅までい館にて 「花の品評会」を開催しました

いいたて村の道の駅までい館を会場に、『令和8年度飯館村花の品評会』を開催しました。

品評会には、10人の生産者が、トルコギキョウ、スターチス、リンドウを出品しました。展示期間は、9月12日から14日で、来場した150人以上の投票を元に審査が行われました。

審査の結果、トルコギキョウ部門は佐藤照子さん（比曽）、スターチス部門は須田幸正さん（小宮）、リンドウ部門は阿部猛さん（佐須）が村長賞を受賞。他にも各部門で優秀賞が選ばれました。



参加者がグループに分かれ、県道原町川俣線を歩いて、道路脇のゴミを丁寧に拾い集めました。

きれいな道路を目指して 清掃活動を行いました

国土交通省では、道路の役割や重要性を啓発する期間として、8月1日から31日を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」と定めています。

福島県建設業協会相馬支部、福島県相双建設事務所、役場建設課では、毎年この時期に、道路清掃の奉仕作業を行っています。近年の猛暑を考慮し、今年は時期を調整して9月18日に実施しました。交流センター「ふれ愛館」の駐車場で出発式を行い、ドライバーや歩行者がきれいな道路を通行できるよう、県道原町川俣線の清掃活動を行いました。



さまざまな商品や料理を通して、村の農産物の魅力、生産者の取り組みなどをPRしました。

仙台オクトーバーフェスト 5日間の出展で村をPR

錦町公園（宮城県仙台市）で開催された「仙台オクトーバーフェスト2026」に9月21日から25日まで出展し、事業者と村の職員が、農産物や特産品、郷土料理などを販売しました。また、飯館産黒毛和牛の部位の食べ比べ、花をテーマにしたワークショップも実施。村の魅力を伝える中で来場者から「応援しています」「今度遊びに行きます」などと励ましをいただく場面もありました。



「福島県企業立地セミナー」 県内市町村が東京で企業と交流

8月27日、帝国ホテル東京（東京都千代田区）で開催された『福島県企業立地セミナー』に出展しました。セミナーでは、各市町村長によるプレゼンテーションが行われ、杉岡村長が飯館村の魅力や特徴、企業立地に向けた取り組みなどを紹介しました。また、交流会では17社と直接意見を交わし、立地環境や補助制度などを説明しました。

このセミナーをきっかけに立地場所として村に関心を持った企業から、改めて具体的な問い合わせも受けています。



内堀雅雄福島県知事を中心にトークセッションなども行われ、県としてのポテンシャルもアピールしました。

集落支援員 第1号 堀川洋子さんが就任

9月1日に村の辞令を受け、上飯樋行政区の集落支援員となった堀川洋子さん（大久保・外内）。週に4日、集会所に勤務し、区と共に地域の活性化、環境整備、見守り活動などに取り組んでいきます。

堀川さんは「毎日が新しいことの連続で大変ではありますが、地域について、今まで知らなかったことを知る楽しさを感じています」と笑顔で話していました。鈴木秀範区長は、「上飯樋行政区の『顔』となり、地域のパイプ役を担ってほしい」と期待しています。



上飯樋集会所で勤務する堀川さん。行政区に協力し、地域の活性化に貢献していきます。

市町村対抗軟式野球大会 1回戦で西郷村と対戦

『第20回市町村対抗福島県軟式野球大会』に飯館村チームが出場。9月6日、エフコム大泉球場（伊達市）にて、西郷村チームと対戦しました。

時折小雨が降る中、先発の大内良真投手（佐須）の力強い投球を中心に、16人の選手が一丸となって戦いました。また、約40人の村民が球場に駆け付け声援を送りました。随所に好プレーがありましたが残念ながら試合は1対6で敗れました。声を掛け合い笑顔で全員野球を楽しんでいた選手の皆さん。飯館村の元気な姿をアピールできた大会でした。



明るく笑顔が絶えない飯館村チーム。全力プレーに、応援の皆さんも、拍手や声援を送り続けました。